

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 9 日 (2005.6.9)

【公開番号】特開 2001-189276 (P2001-189276A)
 【公開日】平成 13 年 7 月 10 日 (2001.7.10)
 【出願番号】特願 平 11-371691
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 1 L 21/205
 H 0 1 L 21/027
 H 0 1 L 21/3065
 H 0 5 B 3/68

【F I】

H 0 1 L 21/205
 H 0 5 B 3/68
 H 0 1 L 21/30 5 6 7
 H 0 1 L 21/302 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 8 月 30 日 (2004.8.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

セラミックスからなる均熱板の一方の主面をウエハの載置面とし、他方の主面もしくは内部に発熱抵抗体を有するとともに、該発熱抵抗体と電氣的に接続される給電部を前記他方の主面に具備し、上記均熱板の外周を支持体に保持してなるウエハ加熱装置において、前記支持体に均熱板を冷却するためのガス噴射口が設置され、前記支持体にその面積の 5 ~ 70 % の開口部を形成したことを特徴とするウエハ加熱装置。

【請求項 2】

前記均熱板の厚みが 2 ~ 7 mmであることを特徴とする請求項 1 に記載のウエハ加熱装置。

【請求項 3】

前記ガス噴射口が 4 ~ 15 個であることを特徴とする請求項 1 に記載のウエハ加熱装置。

【請求項 4】

前記セラミックスが、炭化珪素または窒化アルミニウムを主成分とすることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のウエハ加熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0014
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【0014】

【課題を解決するための手段】

本発明者等は、上記の課題について鋭意検討した結果、セラミックスからなる一方の主面をウエハの載置面とし、他方の主面もしくは内部に発熱抵抗体を有するとともに、該発熱抵抗体と電氣的に接続される給電部を前記他方の主面に具備した均熱板と、該均熱板の

外周を支持体に保持してなるウエハ加熱装置において、前記支持体に均熱板を冷却するためのガス噴射口が設置され、前記支持体はその面積の 5 ～ 70 % の開口部を有するウエハ加熱装置とすることにより、上記課題を解決した。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

また、前記支持体にガス噴射口を設置することにより、例えばウエハ加熱装置の温度変更時の温度が安定するまでの時間を短縮することが可能となる。